

補足参考資料

「SOLARPACK®660」と「DC1000V 対応 接続箱」の仕様は以下の通りです。

SOLARPACK®660

項目	仕様
設置場所	屋外（塩害はオプション）
冷却方式	エアコン冷却
定格容量	660kW
直流最大入力	DC1000V
運転電圧範囲	DC460～950V
交流出力	AC300V（昇圧絶縁変圧器で6600Vへ昇圧）
定格変換効率	最大効率：98.4%（実力値） 定格出力時：97.8%以上

DC1000V 対応 接続箱

項目	仕様
定格電圧	DC1000V または DC750V
最大入力電圧	DC1000V
入力回路数	16回路 または 12回路
定格入力電流	10A
定格出力電流	160A または 120A
保護等級	IP44
ストリング監視（オプション）	PLCストリング監視装置 【主な特長】 通信線が不要、監視端末装置の電源も不要
その他	鋼板製（標準）、SUS製（オプション） 重防食塗装（鋼板製）、普通塗装（SUS製） SPDクラスⅡ 組込み ストリング監視（別途）

1. DC1000V 対応 660kW 屋外形パワーコンディショナ

1) 従来の直流入力電圧 DC600V や DC750V で構成していたシステムと比較すると以下のような特長があります。

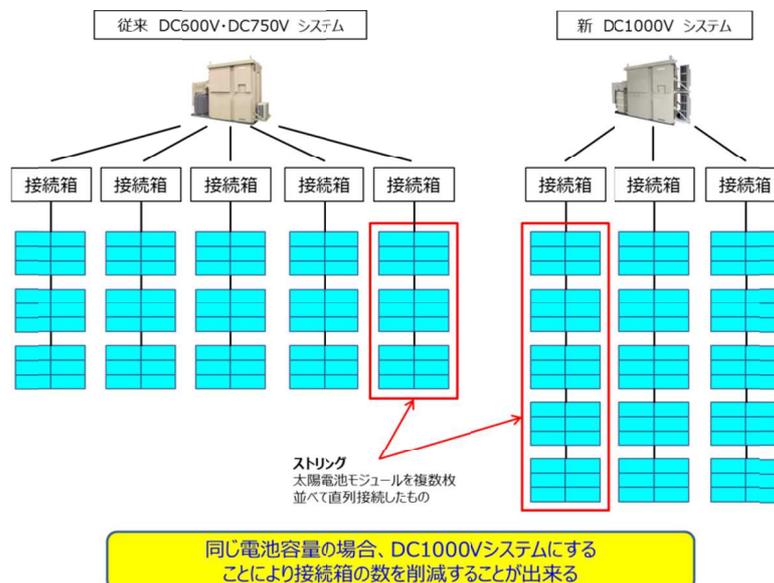
●コスト削減

- 太陽電池モジュールの直列数を増やしてシステム構成することができ、ストリング（太陽電池モジュールを複数枚並べて直列接続したもの）の数を減らすことで、接続箱の数を削減できます。
- 接続箱からパワコンまでの配線ケーブル数を減らすことができ、施工コストを削減できます。

●発電量の増大

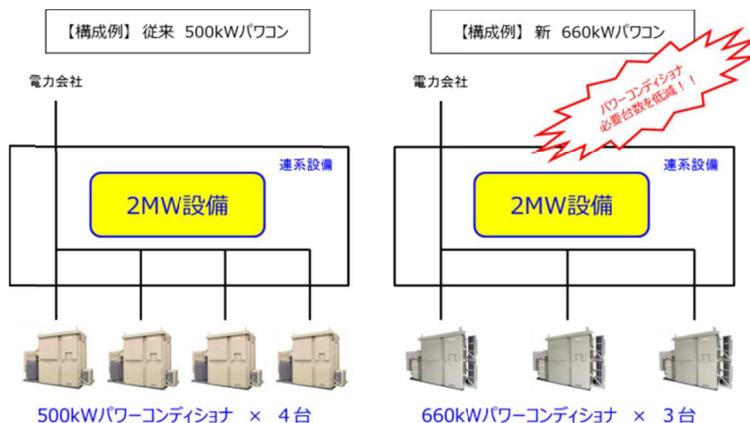
DC1000V 化による直流電流の減少によりケーブルサイズを削減でき、ケーブルロスを低減することができるため発電量が増大します。

DC1000V でのシステム構成イメージは以下の通りです。



2) 660kW パワコンを従来の 500kW で構成していた場合と比較すると、設置台数の低減によりコスト削減が可能となります。

【例】メガソーラー発電 2MW に本製品を適用する場合、従来 500kW パワコンでは 4 台必要だったのに対し、660kW では 3 台になり、太陽光発電の機器コストや設置コストの削減が可能となります。



3) その他、従来の屋外形 500kW パワコンと同様に以下の特長があります。

●**簡単施工**

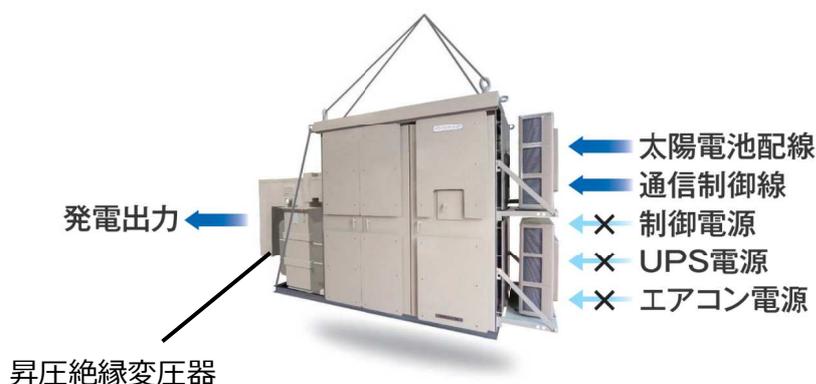
パワコンと昇圧絶縁変圧器が一体構造のため、現地搬入・施工時に機器を据え付けるだけの簡単施工が可能となります。

●**電源供給不要**

パワコン本体で制御電源を自ら構成しているため、制御電源・UPS 電源・エアコン電源を外部から供給する必要がありません。

●**屋外専用機のため別途、屋外エンクロージャ（シェルター）が不要となります。**

●**直流集電機能（最大 12 回路）を内蔵でき、別途・直流集電盤が不要となります。**



2. DC1000V 対応 接続箱

主な特長は以下の通りです。

1) 最大入力電圧 DC1000V に対応

メガソーラー発電などで DC1000V で構成する場合に 660kW パワコンとセットでお選びいただけます。

2) コンパクト設計により省スペース化を実現

太陽電池パネルの傾斜架台下へ設置しやすいように、接続箱の高さを低く抑えており施工性に優れています。(外形寸法：幅：720、奥行：175、高さ：480 (mm))

3) 逆流防止対策としてダイオード方式を採用

太陽電池パネルで生み出された電気エネルギーが逆流してパネルを破壊しないように逆流防止ダイオードを内蔵しています。

4) 当社海外工場で製造、国内で品質保証することにより低コストを実現しています。